

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第3区分  
 【発行日】令和7年7月2日(2025.7.2)

【国際公開番号】WO2024/080292  
 【出願番号】特願2024-551710(P2024-551710)

【国際特許分類】

C 0 8 F 2 2 0 / 4 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

H 0 1 B 5 / 1 4 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

H 0 1 G 4 / 3 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

10

【F I】

C 0 8 F 2 2 0 / 4 2

H 0 1 B 5 / 1 4 Z

H 0 1 G 4 / 3 2 5 1 1 L

【手続補正書】

【提出日】令和7年6月24日(2025.6.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

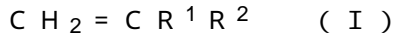
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

1, 1 - ジシアノエチレンに由来する構成単位(A)及び下記一般式(I)で表される化合物に由来する構成単位(B)を含む共重合体であって、



前記共重合体が、前記構成単位(A)及び前記構成単位(B)で構成される下記4種の三連子構造(U-1)~(U-4)を含み、

(A) - (A) - (A) . . . (U-1)

30

(A) - (A) - (B) . . . (U-2)

(B) - (A) - (A) . . . (U-3)

(B) - (A) - (B) . . . (U-4)

前記4種の三連子構造の全量中、(U-2)及び(U-3)の含有量が5.5モル%以下であることを特徴とする共重合体。

(一般式(I)中、R<sup>1</sup>は水素原子、アルキル基、シクロアルキル基、アリール基、アルコキシ基及びハロゲン原子から選ばれる1種以上であり、

R<sup>2</sup>は水素原子、アルキル基、アルケニル基、シクロアルキル基、アリール基、ハロゲン原子及びハロアルキル基から選ばれる1種以上である。)

【請求項2】

40

前記4種の三連子構造の全量中、前記(U-1)の含有量が1.8モル%以下である、請求項1に記載の共重合体。

【請求項3】

前記共重合体全量中の前記構成単位(A)の含有量が30~55モル%である、請求項1又は2に記載の共重合体。

【請求項4】

前記一般式(I)で表される化合物が、スチレン、        -メチルスチレン、p-メチルスチレン、イソブチレン、1-ヘキセン、プロピレン、及びエチレンからなる群から選ばれる1種以上である、請求項1又は2に記載の共重合体。

【請求項5】

50

請求項 1 又は 2 に記載の共重合体を製造する方法であって、重合温度が 45 以下であり、前記一般式 (I) で表される化合物の仕込み量が、1,1-ジシアノエチレンの仕込み量に対して 0.80 ~ 3.5 当量であり、且つラジカル重合開始剤の存在下で製造する共重合体の製造方法。

【請求項 6】

請求項 1 又は 2 に記載の共重合体を含む樹脂組成物。

【請求項 7】

請求項 1 又は 2 に記載の共重合体を用いた成形加工品。

【請求項 8】

請求項 1 又は 2 に記載の共重合体を用いたフィルムであり、加熱前の黄色度と、常圧下 140 で 1 時間加熱した後の黄色度との差が 2.5 % 以下であるフィルム。 10

【請求項 9】

請求項 8 に記載のフィルムに導電層を積層した導電フィルム。

【請求項 10】

請求項 8 に記載のフィルムを含むフィルムコンデンサ。

20

30

40

50